

過去最高予算を可決！令和8年度の主な施策(一部抜粋)

②「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現(安心・安全の追求)

介護・医療体制の充実

新規 介護・医療人材の確保 2億4,627万9千円

◆介護人材の確保 1,582万9千円

- 奨学金返還支援を行う介護施設への補助
 - 上限18万円/年・最長5年間
- 看護人材の確保 5,045万円
 - 奨学金返還支援を行う医療機関への補助
 - 上限18万円/年・最長5年間
 - 就業環境の整備、就業支援金等の支給を行う医療機関への補助
 - 潜在看護師 上限10万円
 - 県外看護師 上限20万円
 - フットストップで情報収集できるポータルサイトを構築

◆医師不足地域等の医師確保促進 1億8,000万円

- 医師育成奨学金貸与者の勤務先の拡大(条例)
- 国立病院機構開設病院等を追加
- 外科、総合診療科を特定診療科に設定
- 医師不足地域・診療科への医師派遣補助
- 特定地域・特定診療科 7名
- 秩父地域 5名

新規 医療提供体制の充実 2,942万6千円

- 秩父地域の輪状病院に対する支援体制の強化
- 相談体制の構築、若手医師向け小児救急研修
- 円滑な転院調整体制の構築

①歴史的課題への挑戦(人口減少・超少子高齢社会への対応)

持続可能なまちづくりと経済成長の実現②

一部新 サークラーエコノミー(CE)の推進 3億6,746万9千円

◆CE型ビジネスモデルの創出・転換支援

- CE推進センター埼玉の運営(マッチング・製品化支援)
- CE推進分科会員と連携した事業者・県民への普及啓発
- 3種の補助メニューによる支援
- スタートアップ企業ビジネスプランコンテスト開催 など

◆リチウムイオン電池広域回収・資源化体制の構築

- 分別回収マニュアルの全市町村への展開・定着支援

①歴史的課題への挑戦(人口減少・超少子高齢社会への対応)

持続可能なまちづくりと経済成長の実現④

新規 生産性向上や賃上げ環境の整備等への支援 54億1,042万3千円[令和7年度2月補正]

◆中小企業の省力化支援 20億7,584万円

- 対象: 省力化に資する設備の導入や更新
- 補助率: 2/3 (賃上げを行った場合 4/5)
- 補助対象事業費: 1,500万円

◆新技術・新製品開発への支援 9億663万2千円

- 対象: 中堅企業・中小企業が取り組む新技術や新製品の開発
- 補助率: 2/3 (小規模事業者 3/4)
- 補助対象事業費: 中堅企業 1億円, 中小企業 3,000万円, 小規模事業者 3,000万円

◆福祉施設に対する支援 10億4,130万円

- 障害者就労施設
- 対象: 事業所の生産活動に使用する設備導入等
- 補助率: 10/10
- 補助対象事業費: 設備導入 1,000万円, 拠点整備 3,000万円
- 介護施設
- 対象: 業務効率化を目指す施設の介護機器等の導入費用(見守り機器、インカム等)
- 補助率: 4/5
- 補助対象事業費: 1施設(定員70人)の場合 2,660万円

◆医療施設に対する支援 13億8,665万1千円

- 対象: 救急医療等に特に重要な役割を担う病院の生産性向上のための設備導入費
- 補助率: 2/3
- 補助対象事業費: 役割に応じ 2,000万円~5,000万円

①歴史的課題への挑戦(人口減少・超少子高齢社会への対応)

「こどもまんなか社会」の実現①

新規 こども版 彩の国だより発信 1,504万9千円

- 小学校等を通じて「こども版 彩の国だより」を県内の全小小学生に配布
- 県の施策を分かりやすく届ける
- アンケート等を活用して、県の施策についてのこどもの意見を聞く

拡充 私立学校父母負担軽減補助の拡充 342億2,601万7千円

- 県内全私立高校で年収約500万円未満の世帯の生徒納付金を実質無償化

区分	世帯年収(目安)	補助上限
授業料	所得制限なし	457,200円
入学料	~500万円	223,000円
施設費等	500万円~609万円	100,000円
	~500万円	200,000円

①歴史的課題への挑戦(人口減少・超少子高齢社会への対応)

「こどもまんなか社会」の実現②

一部新 学校体育館等における空調整備 36億4,029万7千円

- 児童生徒が安全な学校生活を送ることができ環境整備を加速
- 体育館、選択・特別教室へ空調設備を順次整備

全ての県立学校の空調整備を実現(整備目標:令和15年度)

区分	R8年度	R9年度以降	整備目標
防炎拠点校工事			~R8年度
特別支援学校 設計・工事			~R12年度
高校(防炎拠点校以外) 設計・工事			~R15年度
選択・特別教室 高校(未設置校) 設計・工事			~R15年度

一部新 特別支援学校の整備 27億3,241万6千円

- 障害のある児童生徒の教育環境の充実

事業内容	設置場所(開校・供用予定年度)	受入規模
既存校の改築	大宮北特別支援学校(R14)	110人増
	浦和特別支援学校(R15-R18)	120人増
	和光南特別支援学校(R12)	160人増
既存校の増築	上尾かしの木特別支援学校(R13)	120人増
	川口特別支援学校北棟(R10)	96人増
新校設置	東東部地域特別支援学校(仮称)(R12)	250人
	東西部地域特別支援学校(仮称)(R11)	150人
プール整備	新川口特別支援学校(R14)	-

②「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現(安心・安全の追求)

県民の暮らしの安心確保

新規 警察活動の強化 5億1,419万6千円

◆デジタル捜査による匿名・流動型犯罪グループ及び外国人犯罪対策の強化

- スマートフォン解析機器等の整備
- 防犯ビデオカメラ映像解析用ソフトウェアの整備

◆警察官の定数増員 2年連続 全国最多 175人の増員

- 全国475人の増員のうち、175人の増員
- サイバー空間における対処能力の強化
- 匿名・流動型犯罪グループに対する戦略的な取組の強化

◆消費者教育の充実 5,550万円

- 生活科学センターのリニューアルに向けた調査・設計の実施
- 体験型学習の充実
- デジタル世代向けのVR・ARコンテンツの導入
- 親子モニターイベントの開催

①歴史的課題への挑戦

激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え①

一部新 埼玉版FEMAによる災害対応力の強化 1億1,328万4千円

- シナリオの新規作成やブラッシュアップを繰り返す埼玉版FEMA訓練を全庁で実施
- 複合災害(台風×地震)
- 事故災害
- 災害医療体制

◆30回、延べ約950機関 参加予定人数 約2,800人

- 危機・災害対応の標準化のため、埼玉版FEMAプロトコルを策定中
- 危機・災害を自分事として的確に対応できる防災人材を育成

対象者 約9,200人(県職員等)

新規 次なる感染症に備えたDX体制強化 9,020万1千円

- 衛生研究所に検査業務管理システムを構築
- 検体情報や検査結果の入力、検査成績書の発行を自動化し、効率化を実現
- 県民等が検査結果を早期に把握
- 新興感染症発生時における検査依頼から成績書発行までの期間を6日から3日に短縮
- 保健所にノーコードツールを用いた患者管理システムを構築
- 患者管理業務を自動化し、効率化を実現

①歴史的課題への挑戦

激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え②

一部新 八潮市道路陥没事故を踏まえた下水道管路の老朽化対策 48億8,310万円[流域下水道事業会計]

- 下水道管の破損及び道路陥没への対応
- 掘削工事を進めるとともに影響を受ける周辺住民・事業者へ必要な補償等を実施
- 救助に係る経費や補償費等の財源を一般会計から補助

◆全国特別重点調査の結果を踏まえた対策の推進

- 調査の結果を踏まえた下水道管路の改築工事等を実施

新 下水道管路のリダンダンシーの確保(複線化) 中川水循環センター

- リダンダンシーを確保するため複線化工事に着手
- 【I期工事】(R8~R11)
 - ＜債務負担行為＞
 - ＜限度額 170億円＞
 - ＜期間 令和9年度~11年度＞
- 【II期工事】(R9~R13)
 - ＜債務負担行為＞
 - ＜限度額 170億円＞
 - ＜期間 令和9年度~11年度＞

※複線化ルートや工法等については一部検討中

①歴史的課題への挑戦(人口減少・超少子高齢社会への対応)

更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上③

新規 中小企業等の更なるDXの推進 29億9,459万円[令和7年度2月補正]

◆商工団体のDX推進 4億6,000万円

- 事業者支援能力の向上に繋がるDXの取組に補助

◆商工団体への「経営サポーター」配置(県内8拠点) 9,264万円

- 支援策のマッチングと併走支援を実施

◆県内中小企業等のDX推進 24億4,195万円

- DXの体験型展示会の実施
- DXツールを紹介する体験型展示会を金融機関と共催で開催(県内5か所)
- DXツール展示のほか、県の補助金活用などを促すブースを設置
- 生産性の向上に資するDXツールの導入経費に対する補助
 - 上限額 300万円 補助率 3/4

◆中小企業の省力化支援[再掲] 20億7,584万円

②「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現(誰もが輝く社会)

人生100年を見据えたシニア活躍の推進/誰もが活躍し共に生きる社会の実現

一部新 全国健康福祉祭開催 21億1,429万2千円

ねりんピック 彩の国さいたま2026

咲き誇れ!長寿と笑顔 彩の国

令和8年11月7日(土)~10日(火)

開催日数 268日

- 県内24市町で行われる30種目の交流大会、eスポーツや音楽文化祭などを開催

新規 男性DV被害者支援 935万6千円

- ジェンダー主流化の視点を踏まえた取組として男性DV被害者への支援を強化
- 専用相談窓口の設置
- 性別を問わないDV被害の周知
- 個別支援の実施

新規 GNT(グローバルニッチトップ)企業の育成 6,100万3千円

- 卓越した技術を持ち、特定の分野で高い世界シェアが狙えるGNT企業を育成
- 海外の世界的メーカー等へGNT企業の製品を持ち込み個別商談を実施
- 商品改良や海外展示会出展を支援(補助率)1/2(補助上限)250万円

新規 県産いちごの品質向上 5,330万円

- 県産品種「あまりん」の品質を高位・安定化し、県産いちごブランドの長期確立につなげるため、AIを活用した取組を実施
- 高品質栽培の汎用化技術の確立
- ほ場に応じた改善提案ができるシステムの開発
- 栽培の現地状況を入力

②「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現(持続可能な成長)

儲かる農林業の推進

一部新 県産木材の利用促進 4億9,937万2千円

- 豊かな森林を未来へつないでいくため 県産木材利用促進条例を制定し、「活樹」を推進
- 県産木材の新たな活用促進
- 県産木材を使った 移動木造応急住宅の整備
- 県産木材の供給体制の強化
- 製材品等をストックし供給する 新たな流通体制の構築に向けた調査
- 活樹活動の推進
- 活樹の普及啓発活動
- 第75回全国植樹祭記念植樹地の保全活動体験

新規 新規就農者の確保 5,227万円

- 果樹農業の新たな担い手の育成・確保
- 果樹栽培に関心を持つ就農希望者の掘り起こし
- 既存樹園地を活用した研修体制整備や既存樹園地と就農希望者のマッチング



松井ひろし県政報告会を開催させていただきました！



令和8年度予算の可決を受け、朝霞市産業文化センターで県政報告会を開催させていただきました。お花見シーズンにも関わらず、大変多くの皆様にご参加いただき心より感謝申し上げます。
私からは254バイパス開通に向けての進捗、見通し、課題等を報告し、表面でも記載しましたが、災害対策の重要性をお伝えさせていただきました。

令和8年度当初予算案 事業箇所図 朝霞市

- ②国道254号(和光富士見BP)／朝霞市上内間木外 委託・工事・用地・補償
- ③岡通線／朝霞市宮戸地内外 委託・用地・補償
- ⑩一級河川黒目川／朝霞市溝沼地内外 工事(遊歩道整備)
- ⑪一級河川黒目川／朝霞市藤折町外 工事(河川管理施設修繕)
- ⑨一級河川新河岸川／朝霞市宮戸 委託・工事(築堤工、河道掘削工)
- ④一般国道254号／朝霞市台地内外 工事(防草対策 L=700m)
- ⑧主要地方道朝霞線／朝霞市上内間木内外 委託
- ⑦一般国道254号／朝霞市下内間木内外 工事(朝霞大橋 修繕工事)
- ⑩一級河川越戸川／朝霞市台外 委託・負担金
- ⑤一般県道和光志木線／朝霞市仲町地内 工事(側溝更新 150m)
- ⑥主要地方道朝霞線／朝霞市本町地内 補償

第2期整備区間
4,290m (用地約97%、工事約36%)
H25 モデル工事(L=120m)
R5.7.29(L=1.4km) 暫定3車線用地

JR武蔵野線交差部の3Dモデル

定例の県政報告会とは別に少人数での懇談会、タウンミーティングを開催して、皆様のご意見や身近なお困りごとをお聞きしたいと考えておりますので、お気軽に松井ひろし県政事務所までお問合せください。

自由民主党議員団 松井ひろし 埼玉県議会議員 HIROSHI PRESS

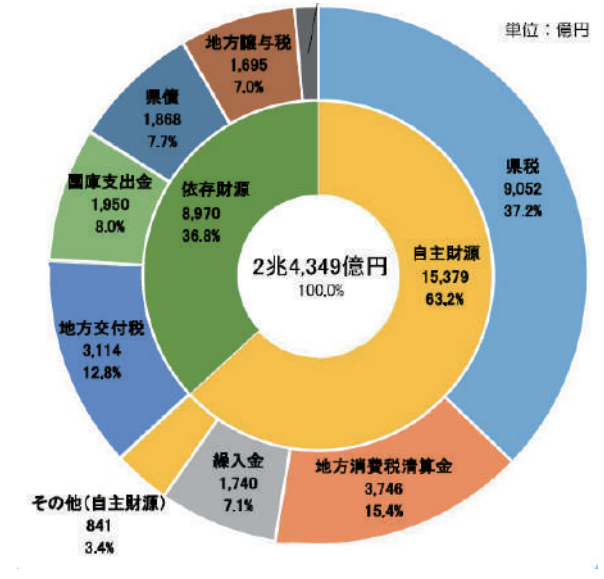


平素より私の政治活動に対しまして、格別のご高配を賜り、衷心より感謝申し上げます。
熊本地震から10年が経過しました。被害を最小化に抑えるためには、日頃からの備えと行政地域の連携、強靱なインフラ整備が不可欠です。過去の災害を教訓にして、安心できるまちづくりに努めてまいります。
朝霞市内でも大きいサイズの制服やランドセルを背負う子どもたちが新生活を迎えました。今年度は福祉保健医療委員長として、埼玉県が掲げる「誰もが暮らしやすい埼玉県の創造」を中心に医療提供体制の拡充策や児童養護施設の抱える課題、医師、看護師、保育士確保の環境整備に注力してまいります。今年度も引き続きのご指導、よろしくお願い致します。

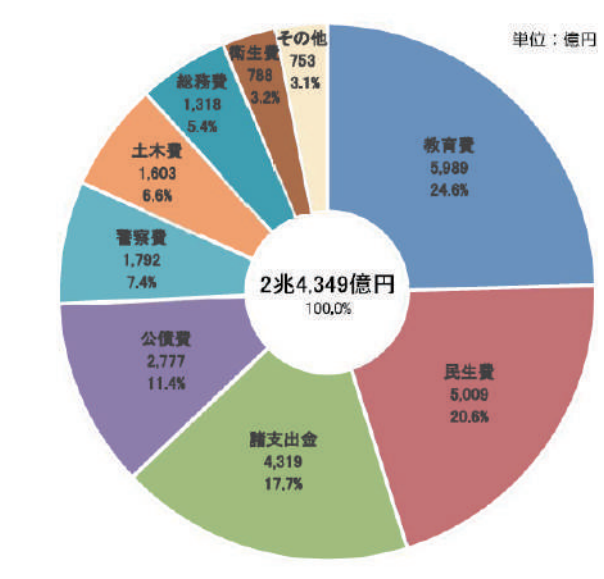
強い経済で歴史的課題への挑戦！ 2026.5 No.28

令和8年度一般会計予算2兆4,348億6500万円を議決

埼玉県議会2月定例議会は2月19日から3月27日まで開会され、過去最高額となる一般会計予算2兆4,348億6500万円を慎重審議の上、可決しました。県税収入のうち個人県民税は前年度比314億円増、法人2税も前年度比146億円増となりますが、暫定税率廃止による軽油引取税は261億円の減収となるなど、地方公共団体にとって財源の確保における変動が大きな年となり、県税全体では対前年度比258億円の増、9052億円の計上となりました。



埼玉県では「人口減少・超少子高齢社会への対応」と「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」という、大きな2つの歴史的な課題に直面しています。社会全体の生産性の向上や持続可能なまちづくり、子育て支援等を通じた「こどもまんなか社会」の実現が必要です。こどもまんなか社会の実現に向けては、私立高校の父母負担軽減や全ての県立学校体育館への空調整備、医療的ケア児・ヤングケアラー支援など多岐にわたる予算が計上されましたが、単なるばらまきに終わらせず、真に子育ての希望につながる成果へと導く具体策を求め続けます。また災害は必ず起こるという前提の下、平時から備えと想像力を働かせ、あらゆる危機に的確に備える取組が不可欠です。災害時の輸送道路として不可欠な254バイパスの早期開通、河川整備、主要道路地盤沈下対策等、朝霞市内においても命を守るための整備が残されておりますので、1日も早い完成に向けて関係各所と強固な連携で対応させていただきます。



いよいよ開幕へ ねんりんピック埼玉大会！

ねんりんピックは、高齢者を中心とするスポーツや文化種目の交流大会の他、世代に関わらず誰でも参加できる健康や福祉に関する多彩なイベントや、美術展、音楽文化祭などの文化イベントなどが開催される、スポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典です。



高齢者を中心とする国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与することを目的として、厚生省(現:厚生労働省)創立50周年を記念して昭和63(1988)年にスタートし、都道府県持ち回りで開催されています。朝霞市では11月7日から9日の間、総合体育館で空手道が行われます。まだ選考会に間に合う種目もございますので、興味のある方は特設サイトおよび種目別公式サイトをご確認ください。

- 令和8年度 所属委員会
- 福祉保健医療委員会 委員長
 - 図書室委員会 副委員長
 - 危機管理・大規模災害対策特別委員会 副委員長
 - 予算特別委員会 委員



松井ひろしプロフィール

朝霞第七小・朝霞第二中出身。
高校卒業後 家業を継ぐために専門学校を卒業。
彩夏祭実行委員長を始め地域ボランティアに力を注ぐ。
地域の発展には政治の決断が必要と考え、2019年埼玉県議会議員選挙に挑戦し初当選。現在2期目。
自由民主党朝霞支部長。災害対策に取り組む。
好きな食べ物「アジフライ定食」



発行:埼玉県議会自由民主党議員団
松井ひろし県政調査事務所
 〒351-0011 朝霞市本町3-4-17
 TEL:048-483-4256 FAX:048-483-4257
 メール: info@matsuihiroshi.com